
1 分間のラブストーリー

あいぼ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

1分間のラブストーリー

【コード】

N0901G

【作者名】

あいぼ

【あらすじ】

1分間で読める『べた恋』。その果てしないまでのべたなラブストーリーに、是非是非ニヤけちゃって下さい。

Vol.1 期末テスト

「なあ、あいぽ。期末テストにむけて、一緒に勉強しようぜ」

夕日が差し込む放課後の教室。

木村くんは、私に話しかけてきた。

中学の時から好きだった木村くん。

偶然にも、あいぽと同じ高校に進学した木村くん。

だから、これからもずっと一緒にいれると思っていた木村くん。
なのに……

昨日の放課後、隣のクラスの女の子に告白をされた木村くん。

……どこか遠くへ行っちゃいそうな木村……くん。

「じゃあ、俺から問題をだすね」

「……うん」

オレンジ色に照らされた木村くんの横顔は、なんだか眩しくって、私の胸に切なさが入み上げてくる。

「今から出す問題は5択問題だ。A～Eのうちどれかひとつを選んで答えてくれよ」

……やだ、木村くん。

そんな笑顔で笑いかけないでよ。

もっと……もっと好きになっちゃっじゃない。

これ以上私を苦しめないで。

「では、問題……。俺は、あいぽの事が中学ん時から好きだ。俺が今、あいぽに告白したら、あいぽはなんと答えるでしょう……か？」

えっ!?

「なあ、あいぽ、昔っからずっとお前が好きだった。彼女になっくれ」

そう言って私を見つめる木村くんの眼差しは、なんだか男らしくて、私の鼓動を一気に高鳴らせた。

「木村くん、AとEのうち選べばいいんですよ」

「……ああ」

「もちろん、Eよ！ 私も、いっぱいいっぱい木村くんが大好きです」

「あいぽ……!」

「木村くん……!」

私は、大好きな木村くんの胸に思いつき飛び込んだ。

おしま

Vol.2 バレンタイン

サイアクなバレンタインデーだった……

予想はしていたけど、木村くんは沢山の女の子からチョコレートをもらっていた。

やっぱり木村くんって、女の子にモテるんだね。

あいぼなんか、普通の女の子過ぎて、木村くんには釣り合わないよ……。

私は、徹夜で作った木村くんへのチョコレートを、私の『恋』と一緒に焼却炉に捨てて、放課後の校舎をあとにした。

ヤダ……雨!?

まるで、私の心が泣いてるかのようになり、藍色の空からは雨が降ってきていた。

「あいぼ、ナニ先帰ろうとしてんだよ!」

校舎の片隅で、空を見上げ悲しみに暮れていた時だった。少し怒ったような木村くんの声が、突然に聞こえてきた。

「あいぼの事は、ほっといてよ! 木村くんには、木村くんのコト好きな女の子がいっぱいいるじゃん。あいぼじゃダメだよ……。あいぼじゃ……。」

気がついたら、私の頬は涙に濡れていた。

さよなら木村くん……。

そして、こないだは『好き』って言うてくれてありがとう。

あいぼは、今日で木村くんの事は忘れます。

だって、あいぼと付き合ってたなら、きっと木村くんはメーワクするよ。

……。

……。

どのくらい時間が流れたのだろうか？

うつ向くあいぼに口を開いたのは木村くんだった。

「……ばか。世界中の女がオレの事どんなに好きって言うても、あいぼから言われる『好き』には敵わないよ」

「木村くん……」

「さあ、一緒に帰ろう。傘、持ってるか？」

そう言っつて、私の頭を撫でてくれる木村くんの眼差しは優しさに満ちていた。

「傘……！？ あっ、そうだ！」

私は、ブレザーのポケットにパラソルチョコを入れていたのを思い出し、それを取り出し、木村くんを上目で見上げて微笑んだ。

「はい、木村くん。ハッピーバレンタイン。大好きだよ」

「あいぽ……！」

「木村くん……！」

私たちは、降りしきる雨の中、ぎゅっと手をつないで、歩き出した。

ぎゅっと……

ぎゅっとね！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0901g/>

1分間のラブストーリー

2010年10月10日19時32分発行